

photoshop 画像の切り抜き

様々な方法で画像を切り抜く。

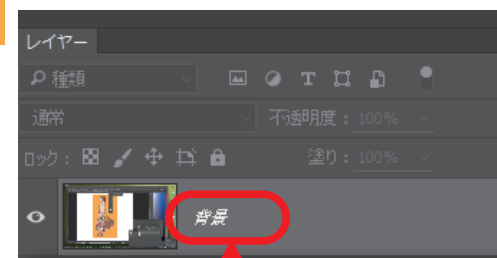
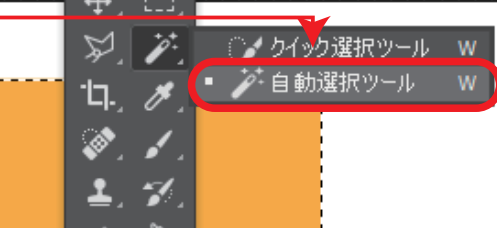
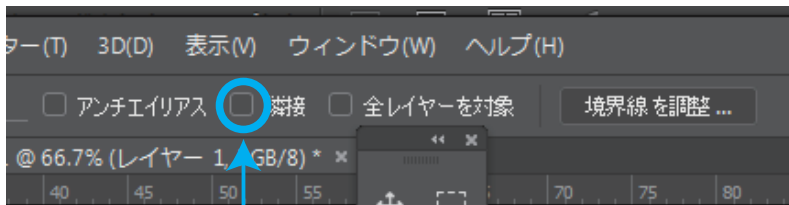
デザイナーの仕事で避けては通れないのがプレゼン用の資料作成だ。嘗ては雑誌を切り抜いて MAP 等を作成していたが、近年はネットの画像を仕様して Photoshop で画像を合成する等といったやり方をする企業も多い。私個人としては、他社の画像を無断拝借して、そこから自社のプレゼン MAP を作成すると言った行為に大いに疑問を感じるが、企業がそのようなやり方を行っている以上は、皆さんが就職した際に困る事のないように説明しておこうと思う。ただし、この国においての、アパレル業界のデザイン盗用率は皆さんが思っている以上に高い。皆さんが就職して第一線で活躍する頃には、この様なやり方を行わず、安易に他社のデザインを無断借用する事の無い業界に変えて頂くことを切に願う！

最も好条件で切り抜ける画像

最も簡単に切り抜ける画像は下の画像のように切り抜きたい物と背景が全く異なる色の画像だ。



まず最初に **自動選択ツール** を選ぶ
この時背景の色と近い色が他の部分で一切使われていない場合はメニューバーの **隣接** のチェックマークを外せば背景の色と同じ色全てを一気に選択してくれる。
そのまま画像を編集メニューからコピー (Ctrl+C) して更に新規のファイルにペースト (Ctrl+V) すれば良い！
もし新規の画像にペーストすること無くこのまま背景を透明にする場合にはレイヤーパレットからレイヤー名の背景の文字部分をダブルクリックしてレイヤー名を変更する
レイヤー名が背景のままだとカットした際に透明にならずにツールの背景色になってしまう。
後は、編集メニューからカット (Ctrl+X) を選べば背景が透明になる。
(Mac の場合は Ctrl が command になります)

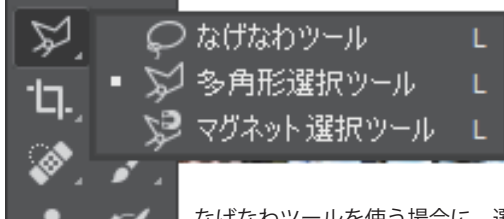


レイヤー名が背景ならダブルクリックで名前を変更しておく



左の画像の様に背景が単色では無い場合は自動選択では切り抜く事ができない。

このような場合はなげなわツール・多角形選択ツール
マグネット選択ツールを使う。
それぞれのツールには使い方の特徴がある。



なげなわツールはマウスでは使い難いツールだがペンタブで使用するすると驚くほど楽に選択できる。使用感覚はフリーハンドで選択したいモチーフを囲むといった感じだ。

なげなわツールを使う場合に、選択したいモチーフを休む事無く囲み続けるのは結構困難である。

その場合一旦何処かで選択するのを止める。選択を再開するには shift キーを押しながら選択を追加したい場所を囲んでいく。一旦囲み始めたら Shift キーは途中で離しても良い。

選択を途中でやめた場合次に選択を再開するには shift キーを押しながら選択を再開する



このツールは囲み始めた最初の部分に戻る事によって完結される。分かりやすく言うと一周するように囲む

また選択しすぎた場合にはキーボード Alt を押しながら囲むと不要の部分を削除出来る。この機能は多角形ツール・マグネットツールも同様だ。
多角形ツールはペンタブのない場合に仕様すると便利だ。直線的にマウスをクリックしながら選択をしていくのだが、思った以上に滑らかに選択出来る。
マグネットツールは選択する物の色にある程度反応して自動的に選択してくれる。左のイラストの様に輪郭が黒で縁取られている場合は選択しやすいが実際の人物の写真だと、あまりうまく囲めない事が多い。